

履修登録の有無にかかわらず、多くの学生、教職員の方の聴講を歓迎いたします

2019年度 春学期・夏学期開講

科学技術政策特論

第4回講義

我が国の宇宙政策の最新動向

内閣府 宇宙開発戦略推進事務局 審議官

行松 泰弘 氏

行松先生からのメッセージ

宇宙開発利用をとりまく世界の状況は大きく変化を遂げています。

我が国においても宇宙開発利用を目指すアクティブな民間の動きを受けて、これまで国主導一辺倒だった政策を転換すべく、新たな模索が続いています。

また、宇宙探査においても新しい動きが生まれています。

このような宇宙開発利用政策の最新動向を紹介しながら、これからの政策の有り方を皆さんと考えたいと思います。

日時:

2019年4月26日

金曜日

5講目 16:30-18:00

場所:

工学研究院

オープンホール

[B-201]

行松 泰弘 先生

大阪府出身、昭和63年科学技術庁入庁。外務省在ロシア日本大使館一等書記官、文部科学省国際協力政策室長、科学技術振興機構理数学習支援部長、北海道大学大学院工学研究院教授、文部科学省基礎研究振興課長等を経験され、平成28年1月から内閣府宇宙戦略室勤務、30年1月から現職。宇宙開発利用政策を俯瞰する立場で、「宇宙基本計画工程表」のとりまとめなどの業務に従事されています。

担当:工学系教育研究センター 矢久保考介教授
内線:7163 Mail: ceed-ind@eng.hokudai.ac.jp